

柳生連也斎 秘伝月影抄（1956）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1956/02/26

【解説】

五味康祐の『柳生連也斎』を「顔のない男」の鈴木兵吾が脚色し「又四郎喧嘩旅」の田坂勝彦が監督した。市川雷蔵と勝新太郎が剣に生きる男を演じ、クライマックスで壮絶な決闘を繰り広げる。

尾州藩の家老に推挙され、宮本武蔵は藩主の御前で見事な剣技を披露した。だが指南役である柳生兵庫之介の一言で仕官のチャンスを奪われてしまう。武蔵は弟子の鈴木綱四郎に不敗の剣理「見切りの秘太刀」を授け名古屋を去った。綱四郎は兵庫之助とその息子の兵介に激しい敵意を抱くようになる。もともと綱四郎と兵介は幼なじみだったのだ。綱四郎は若殿の師範役に決まりかけていたが、若殿の意向によりその役を兵介に譲ることになり…。

【クレジット】

監督 田坂勝彦

製作 酒井箴

企画 辻久一

原作 五味康祐

脚本 鈴木兵吾

撮影 杉山公平

美術 内藤昭

音楽 鈴木静一

出演 市川雷蔵

勝新太郎

夏目俊二

林成年

黒川弥太郎

角梨枝子

香川良介